

脱炭素事業に関する村民説明会【大日向区】開催要旨

日 時	令和5年8月1日（火）午後7時～午後8時05分
場 所	大日向生活改善センター
参加者	22名（村民20名、議員2名）

【質問者】

実際に太陽光パネルの取り付けはいつ頃行われるのでしょうか。

また、以前から要望が上がっているところですので、設備導入のモデルとして、まず大日向生活改善センターに太陽光パネル・エアコンの設置、照明のLED化をしていただきたいです。

【村づくり推進室長】

令和5年度は、民家への太陽光パネル設置に関する意向確認を、株式会社いくさかてらす（以下、「いくさかてらす」という。）が個別に進めていく予定です。意向調査の結果をもとに、令和6年から令和10年までの5年間で、民家、公共施設、事業所等において太陽光パネルの設置や省エネ機器の導入等を行ってまいります。

【藤澤村長】

大日向生活改善センターのモデル化ということでございますが、建物の調査を行い、検討させていただきます。この施設は避難所になっていますので、太陽光パネル・蓄電池を設置して、有事の際にはこの施設で十分に電気が使えるようにしてまいります。

【質問者】

資料9ページ下の注1に、1981年以前に建築された建物は除外したと記載がありますが、ここで完全に線引きされ対象外になるのか、あるいは調査等を経て築年数が経過していても耐震強度が十分だと判断されれば対象物件に含めてもらえるのか、教えていただきたいです。

【村づくり推進室長】

計画段階では設置可能と思われる件数等の見込みを記載しておりますが、実際は屋根だけでなく車庫など敷地内で設置可能な場所を含めて検討してまいります。本事業の趣旨としては、希望される皆様が誰でもご利用いただけるように考えております。敷地内が無理な場合には、遊休地等を活用して太陽光パネルを設置し電力を提供することを考えております。まずは、各家庭への現地調査を行い対応してまいります。

1981年以前に建築された建物の場合、屋根の耐荷重等を確認する必要もありますので、現地調査を行い、設置できる場合には設置することも検討していきたいと思
います。

【質問者】

オフサイトPPA事業の太陽光パネルの設置条件についてお聞きします。

説明では、村内全体で1haを設置する計画しており景観に配慮して設置すること
ですが、集落内や耕作放棄地、原野、山林が含まれているのか、その他どのよ
うな条件があるのか知りたいです。

【村づくり推進室長】

基本的には、各家庭の敷地内に太陽光パネル・蓄電池を設置することを考えてい
ますが、敷地内に設置することが難しい場合は、遊休地等を活用して太陽光パネル
を設置しそこから電力供給する仕組みを考えております。実際の遊休地等への太陽
光パネル設置数は、民家への設置数に応じて変動があると考えていますので、引き
続き調査を行ってまいります。

また、野立ての太陽光パネルの設置場所について、様々な手続きや協議等が必要
になると考えています。各地区で協議させていただき、設置場所を検討していきた
いと思います。

併せて、このPPA事業はいくさかてらすが実施していきますが、設置場所について
は地域の皆様と確認、協議しながら慎重に進めていきたいと思います。

【質問者】

提案ですが、南平で年間の日照時間が長く条件の良い場所が、高津屋森林公園に
続く道の峰に3～4反歩ほどの耕作放棄地があります。所有者は5軒ほどで地目は
農地、具体的には19582番地周辺です。ぜひオフサイトPPAの候補地として検討して
いただきたいと思います。

【牛越副村長】

情報提供、ありがとうございます。

【質問者】

いくさかてらすの発電システムが停電した場合、中部電力から即時電力供給が受
けられる契約が必要だと考えますが、この点についてどのようにお考えでしょ
うか。

【村づくり推進長】

中部電力の電線は各家庭につないだままの状態です。停電や発電量不足などの場合、不足する電力をすぐに中部電力から調達できるよう協議を進めております。

【質問者】

停電発生時、再起動には多くの電力が必要になります。停電時の対応を事前にしっかりと検討していただきたいです。

【村づくり推進室長】

災害時の様々な状況を想定して、対応できるように計画してまいります。

【質問者】

資料4ページに、地域エネルギー会社の役割としてペレット製造工場の建設と書かれています。ペレットより廃材や竹、ぶどうの剪定枝を使ってバイオ炭を作り畑に漉き込む方が付加価値も高いと思います。エコクレジットで購入してくれる企業もあると聞きます。この研究もぜひ進めていただきたいです。また、今回の大事業は多くの皆さんが心配していますが、本事業の収益と必要経費、損益分岐点について知りたいです。

【村づくり推進室長】

ペレットについて、実現可能性について多くのご意見をいただいております。今年度は山林の調査を行い、確実にペレットができるかどうかで確認していきたいと思っております。いただきましたご意見も、手法の一つとして検討していきたいと思っております。

いくさかてらすの事業内容として、太陽光パネル等設備の管理や電気料金の徴収がありますが、会社の収支計画について、多くの皆様が不安に感じていると受け止めております。今後、詳細な収支計画をご提示できるよう、進めてまいります。

加えて、資料4ページに記載していますが、太陽光発電だけではなく他の事業についても、いくさかてらすを中心に進めてまいります。

【質問者】

一つ目です。太陽光パネルを設置する計画の公共施設に保育園が含まれていますが、園舎の屋根は急傾斜で、強風等による落下の危険性が他の施設よりも高いと思います。また、パソコンからの電磁波の影響は、可視化することが難しい問題ですが、影響を受けやすい幼児期の子どもたちに対して健康被害のあるものは設置してほしくありません。計画提案書では合意形成が取れているとのことですが、保護者

に対する意見調査はありませんでした。ぜひ代替案や計画の見直しをお願いしたいです。

また、オフサイトPPAについて、オンサイトPPAが予定通り進まなかった場合に野立ての太陽光パネルによる電力確保が計画されていますが、パネルの下の土地管理について環境への配慮等はどのように対応していくお考えでしょうか。草刈りや土壌の流出、環境破壊の問題があると思います。野立てが増えればコストもかかります。電力会社が対応するのか、土地の所有者が対応するのか気になります。例えば、除草剤をまく場合には環境破壊のほか、人体への健康被害の問題を次世代に残すことになりかねないと懸念しています。

最後にペレットストーブについて質問です。省エネ機器の導入に対して設置費用補助とありますが、ペレットボイラーだけでなく、薪ストーブや薪ボイラー、太陽熱温水器に対しても、特別な補助はしていただけないでしょうか。自宅は築年数の関係でオンサイトPPAは難しいと考えていますし、電気代よりもガス代を節約できる方がありがたいと感じています。ペレットの製造は、とても重要な産業だと思っていますが、薪も十分にニーズがありますし、村内の森林を活用する手段としてゼロカーボンの趣旨に沿ったとてもシンプルな活用法だと思っていますので、バイオマス燃料の活用に対しても費用の補助等、柔軟な対応をしていただきたいと思います。

【村づくり推進室長】

他地区の説明会でも、保育園への太陽光パネル設置についてご意見をいただいております。計画では村の公共施設の一つとして設置を検討しておりますが、実際に利用されてる皆様のご意見も踏まえた上で進めていきたいと考えております。

オフサイトPPAについて、いくさかてらすが一方的に設置場所を決め進めるのではなく、地域の皆様と協議し、環境への影響等を考慮して慎重に検討していきたいと考えております。また、メンテナンスや管理はいくさかてらすが行いますが、地元で管理していただく代わりにいくさかてらすから対価をお支払いする等、地区の皆様との協力については、今後ご相談しながら進めていきたいと思っております。

またペレットボイラーについて、ペレットが実現可能なのか調査を行い、総合的な木質バイオマスの活用方法を村として検討してまいります。省エネ機器等の購入助成についても、いただいたご意見を参考に検討してまいります。

【質問者】

太陽光発電の年間目標発電量を達成するために必要となるパネル面積や敷地面積を教えてくださいたいです。どれくらいの規模なのかイメージしやすいと思います。

【村づくり推進室長】

一般家庭1日の平均電気使用量は12.8kwh、これを太陽光パネルの面積で考えると、約1畳のパネルが16枚分です。実際には、各家庭の電気使用状況等に応じて設置枚数を調整します。

【質問者】

村内全域で必要になる太陽光パネルの平米数を知りたいです。

【村づくり推進室長】

民家1軒あたり16畳分で、村内全体で400軒に設置を想定しています。加えて、オフサイトPPAでは村内全域で1haほどの設置を計画しています。

併せて、公共施設への設置分も加わります。公共施設については消費電力に応じて設置するパネル数を調整します。

【質問者】

民家1軒当たり16畳分×400軒に加え、公共施設分もあるということで間違いないでしょうか。

【村づくり推進室長】

おっしゃる通りです。

【質問者】

先ほどの質問で、野立ての太陽光パネル下の除草管理について回答がありませんでした。具体的にどう対応するのでしょうか。

【村づくり推進室長】

管理方法については、いただいたご意見を参考に、いくさかてらすにおいて対応を検討します。

【質問者】

この事業は太陽光パネルに大きく頼る印象ですが、太陽光パネルの原材料調達から製造、運搬、設置、廃棄、リサイクルの過程におけるCO2排出量は考えてこの計画に挑んでいるのか、お聞かせください。

【村づくり推進室長】

設置に至るまでのCO2排出量と、設備設置後の将来的なCO2排出削減量の収支については、現時点で詳細な試算をしておりません。今後検証してお示ししてまいります。

【質問者】

太陽光パネルは中国から輸入することになると思いますが、レアアースの採掘や製品の輸送過程におけるCO2排出量を考慮しなければ、本当の意味でのCO2排出削減にならないと思います。また、天候不良や災害時に村内の発電量が不足する場合には中部電力から電力供給を受けるとのことですが、中部電力では不足分を供給するための準備を常におこななければならないということだと思います。この待機中の火力発電によるエネルギー消費も理解した上でこの計画を進めていく、という理解でよいでしょうか。

【村づくり推進室長】

最終手段として外部から電気を調達する選択肢を残しておかなければ、安定した電力供給ができませんので、そのように考えております。

【牛越副村長】

停電時や災害時の対応については、今後しっかり検討してまいります。

外部から電力供給を受けられるよう協議を進め、村民の皆様の生活を守ることを天秤にかけながら、対応を検討してまいります。また、太陽光パネルの製造過程等におけるCO2排出に関して、本事業は国の方針に沿って進めてまいります。

村内にも様々な考え方がありますが、その全てを反映させることはできません。村民の皆様のご意見を聞き、事業の内容等を決めていきたいと考えております。

【質問者】

これを契機に、学校でもエネルギー問題を取り上げ、子どもたちと一緒に考え、太陽光パネルの製造から廃棄・リサイクルまでの過程を考える教育をしていただきたいです。

【総務課長】

学校とも一緒に考えていきたいと思っております。

【質問者】

太陽光パネルの変換率は20%程度ですが、国産メーカーでこれを超える変換効率の製品もあります。機器を導入する際には、国産で変換効率の良いものを選んでいただきたいと思っております。

【村づくり推進室長】

導入する製品は、いただいたご意見を参考に検討してまいります。

【総務課長】

たくさんのご意見・ご提案をいただき、大変ありがとうございました。

本日いただいたご意見・ご提案については、本年度計画します設計や実施計画策定に向けて検討し、反映させていただきたいと思います。今後、ご質問やご提案がある場合には、いつでも役場村づくり推進室にご連絡いただきたいと思います。

それでは最後に、村長より本日の説明会に対し御礼を申し上げます。

【藤澤村長】

お疲れのところ、貴重なご意見、また忌憚のないご提案等をいただきありがとうございました。

本当にご心配な方が多いことは十分存じ上げております。全国が、そして地球がゼロカーボンに向けて進んでいかなければ、孫たちや次世代の子どもたちに向けては本当にその次がないような気候危機でございます。そういう状況で、国は再生可能エネルギーの導入に向けて舵を切っております。日本はアメリカや中国に比べて、まだ再生可能エネルギーの導入が遅れています。環境省も本事業を行い、なるべく生坂村から周りに波及してドミノ的に広げていきたいということで、大きな交付金をいただいてできる事業でございます。

5年後、10年後、15年後は本当わからないと思います。15年前には太陽光パネルでどんどん発電することは考えていなかったと思います。ですが、これをやっていかないと困るということは皆わかっています。ただ、各論になるとそれぞれご意見があります。

8月25日の全戸配布では、意向調査をするために全戸にアンケートをお願いをしたいと思います。村民の皆様の民意を把握して、この事業を進めるべきか、少し方向を変えるべきか、しっかり検討・協議して進めていきたいと思っています。今は住民説明会を行い、皆さんの心配を少しでも和らげていきたいと思ひますし、今後とも検討協議を重ね、皆様の意見も反映できる部分はしっかり反映して、年明けには改めて説明会を開催させていただきたいと思ひます。

私4期16年で、皆様のご理解ご協力をいただき、借金・起債を約20億円減らしました貯金基金を約13億増やしました。この基金を使って次世代に繋げる生坂村をどうにか構築していきたいと思ひます。

村民の皆様のご理解とご協力を引き続きいただくことが大事でございますのでよろしくお願ひ申し上げましてお礼の挨拶とさせていただきます。

今日は誠にありがとうございました。

以上